

令和7年度(2025年度)事業報告書

1 概 要

京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につないでいくため、生物多様性に関する情報を正確かつ継続的に把握し、収集された知見を基に、生物多様性に係る理解促進や担い手育成、地域や企業の保全活動の支援等を行うとともに、保全に係る様々な主体の連携・協力関係を構築し、効果的かつ持続可能な生物多様性保全に向けて取り組んだ。

令和7年度は、前年度に引き続き「収集」「利活用」「継承」など各分野の取組を進めるとともに、友の会設立に向けた取組や「きょうと☆いきものフェス」の府域への拡大、企業による生物多様性保全の取組への支援を行った。

<主な事業>

収 集

- ・生物多様性情報の集積・データベース化

利活用

- ・【充実】きょうと☆いきものフェス！2025の開催
- ・森・里・街・川の流域連携事業
- ・企業向け生物多様性連続セミナーの開催
- ・自然共生サイトの認定に向けた申請や保全活動の支援
- ・パートナーシップ協定に基づく保全活動の支援
- ・【新規】各種助成事業を活用した研究の推進

継 承

- ・京都ならではの生物多様性の発信
- ・重点連携施設(4園館)とのイベントの実施
- ・環境学習の推進、保全団体と連携した担い手育成
- ・広報誌、メールマガジン、SNS等による情報発信

その他

- ・【新規】友の会の設立に向けた取組(ラウンドテーブルの開催)

→ 主な事業内容と実績：17ページ

2 生物多様性情報の収集(「収集」分野の事業)

(1) 生物情報の集積・データベース化

行政、保全団体、文献・書籍等から京都府内の生物情報を整理し、これまでに462,429件(R7年度収集体数：300,812件)を電子化し、集積した。また、生物情報の収集について、提供者とのデータの授受に関する契約書類等の整備も行った。

収集した情報は、京都府の公共工事における環境評価、希少種調査のための基礎資料など、必要に応じ解析し、活用を行った。

＜収集データ(累積 462,429 件)の内訳＞

昆虫類 111,116 件 ・ 両生類 7,592 件 ・ は虫類 5,506 件

淡水魚類 27,198 件 ・ 淡水性甲殻類 4,265 件 ・ 淡水貝類 3,367 件

陸生貝類 162 件 ・ 鳥類 249,398 件 ・ 植物 51,708 件 ・ クモ類 2,117 件

(2) 各主体における標本・文献等資料の保有状況の把握

ア 標本や文献等資料の保有状況の情報収集

標本や文献等資料の保有状況の情報収集を行い、標本を保有する各種団体に対する調査を実施した。

＜各種団体への調査＞

・ 京都府立大学、NPO 法人やましる里山の会など 計 13 団体・個人

＜学校標本の調査＞

・ 室町小学校、洛北高校など 累計 10 校(R7 年度実施：7 校)

→ 詳細：18 ページ

イ 標本デジタル化システムの運用

重点連携施設等が保有する標本等の資料を中心にデジタルアーカイブ化を実施。また二次利用にあたって著作権等について整理し、サイトに掲載した。

3 地域活動支援・コーディネート(「利活用」分野の事業)

(1) 地域・団体への支援

ア きょうと☆いきものフェス！2025 の開催

3 回目の開催となる「きょうと☆いきものフェス！2025」は、「いきもの目線で見ると京都の自然」をサブテーマに、保全団体等のブース出展やワークショップなど、規模を拡大して実施した。全 26 組が参加した活動発表会では、園児の身近な生き物調べから高校生の先進技術を使った発表、保全団体の取組など、多岐に渡る発表が行われ、世代を超えた交流につながった。

また、昨年同様、1 日目は、森林のイベント「森林の魅力を体感 in 府立植物園」、2 日目は地域振興のイベント「洛北フェス」と同時開催し、来場者数は前年度を上回る結果となった。

＜きょうと☆いきものフェス！2025 の概要＞

・ 実施日：令和 7 年 9 月 27 日(土)～28 日(日)

・ 場 所：京都府立植物園

・ 参加者：約 12,000 名

・ 出展者：94(団体・個人・学校・行政等)

・ 関連イベントの開催：キミもおちばの探検隊 in けいはんな記念公園(9/13)



▲きょうと☆いきものフェス！2025 の様子

→ 詳細：19 ページ

イ きょうと☆いきものフェス！の府域への拡大

「いきものフェス」の取組を府域に拡大するため、新たに、京都府立丹後海と星の見える丘公園(宮津市)、けいはんな記念公園(精華町)で、「きょうと☆いきものフェス！」を開催した。

観察会やワークショップ、パネル展示などを通して、多くの方が自然と親しみ、生き物について学ぶ機会となるとともに、団体相互の交流につながった。

実施日	内容	場所	参加者	出展者
6/22(日)	きょうと☆いきものフェス！2025 in うみほし	府立丹後海と星の見える丘公園	約 800 名	15(団体・個人・行政等)
3/20 (金・祝)	きょうと☆いきものフェス！2026 in けいはんな	けいはんな記念公園 芝生広場	約 3,000 名	17(団体・個人・行政等)



▲きょうと☆いきものフェス！2025 うみほしの様子

→ 詳細：21 ページ

ウ きょうと☆いきもの調査の実施

身近な自然環境の現状を把握することを目的に、住民参加型のいきもの調査を実施した。身近な存在である「ドングリ」に加え、令和7年度からは「テントウムシ」も対象とした。

＜テントウムシ調査期間と報告件数＞

実施期間	対 象	報告件数	報告種数
R7 年 9 月～	テントウムシ	8 件	1 種



▲「きょうと☆いきもの調査 2025 チラシ」と「テントウムシみわけ図鑑」

（関連イベントの開催）

テントウムシ調査のプレイベントとして、夏の観察会「みんなで探そう 夏のテントウムシ」を開催した。本イベントで参加者から得たアンケート結果を基に、みわけ図鑑を作成した。

また、「きょうと☆いきものフェス！2026 in けいはんな」のセンター企画として、園内のテントウムシや昆虫等を観察する「2人の昆虫はかせとめぐるけいはんな！」を実施。みわけ図鑑の下敷きを参加者に配り、実際に見つかったテントウムシの名前を参加者とともに確認した。

実施日	内容	場所	講師	参加者
7/26(土)	みんなで探そう 夏のテントウムシ	京都府立 植物園	元近畿大学教授 櫻谷 保之氏	31 名
3/20 (金・祝)	2人の昆虫はかせと めぐるけいはんな！	けいはん な 記念 公 園	元近畿大学教授 櫻谷 保之氏 けいはんな記念公園 稲本 雄 太氏	53 名



▲(左)みんなで探そう夏のテントウムシ(中・右) 2人の昆虫はかせとめぐるけいはんなの様子

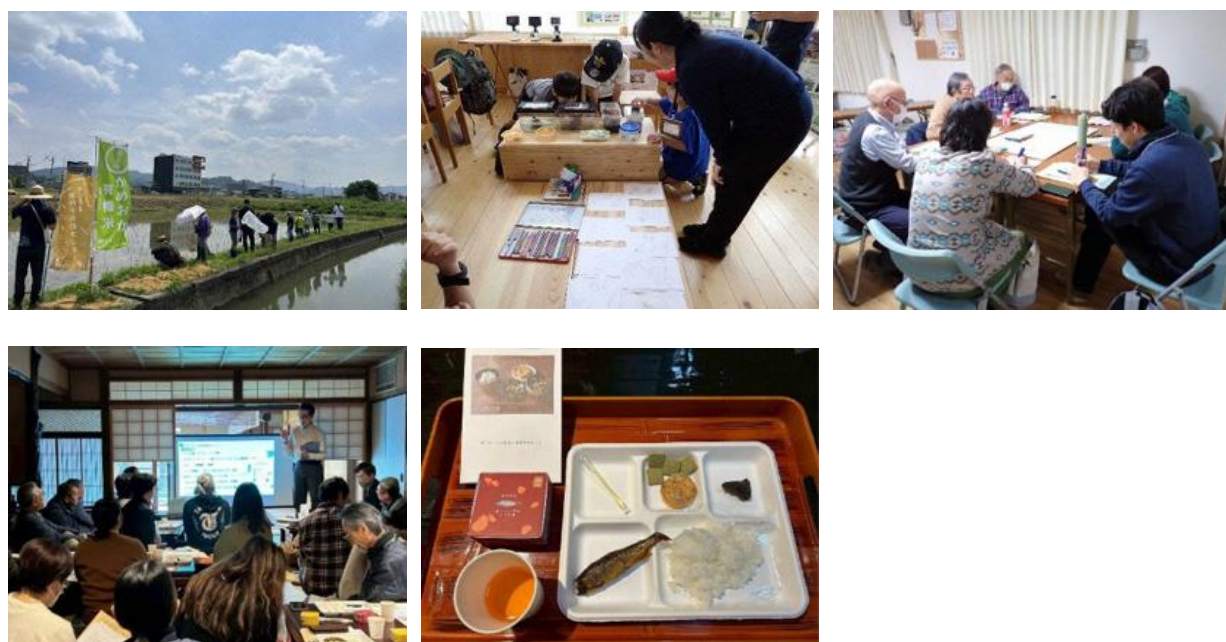
エ 森・里・街・川の流域連携事業

将来にわたり生物多様性の恵みを享受するため、各地域を流域の視点で捉え、生息・生育地を保全・回復する活動を森・里・街・川のエリアごとに促進していくことが重要である。

このため、令和7年度は、「人や場所の繋がりを創出し、その連携を強化すること」、「生物多様性保全に向け、流域を広く捉える意識を持つこと」を目的に、以下の事業を実施した。

実施日	内容	場所	講師	参加者
7/6(日)	森里街川のつながりを学ぶ自然観察会「たんぼのいきものツアー」	サーキュラー かめおかラボ 他	NPO 法人 亀岡人と自然の ネットワーク理事 宇野 洋平氏、自然写真家 飯 村 茂樹氏	30 名
11/16(日)	森里街川のつながりを学ぶ森歩き・意見交換会※	上高野防災会 館	龍谷大学先端理工学部教 授 宮浦 富保氏	14 名
2/15(日)	森里街川の恵みを味わい・ つながりを学ぶ交流会	大西常商店	(公財)日本生態系協会 岩井 大輔氏	24 名

※近隣での熊目撃情報により午前の森歩きは中止



▲各事業における活動の様子

オ 保全団体のネットワーク化の推進

きょうと生物多様性センター友の会(以下、友の会)の設立や保全団体との連携について、友の会準備会と協議を行った。また、友の会設立に向けた意見交換会「ラウンドテーブル」を開催し、友の会でやりたい事などについて、参加者で話し合った。

＜友の会設立に向けた意見交換会＞

- ・実施日：令和8年2月20日(金)
- ・場 所：京都府庁旧本館
- ・参加者：会場 19 名、オンライン 5 名



▶友の会設立に向けた意見交換会の様子

カ 講師養成講座の実施や講師認定制度創設の検討

センター事業に対し、派遣可能な講師リストの作成を行った。また、講師が使用する共通資料の作成を検討している。

キ 多様な主体による保全活動の促進、コーディネート

生物多様性保全に関する活動を支援するため、助言や専門家の紹介等を実施した。

- ・主な支援内容：・イタセンパラの復活に向けた活動
 - ・地域住民と協働した外来種駆除支援
 - ・自然共生サイトの認定に向けた相談・支援(R7年度：3件) など

→ 詳細：23 ページ

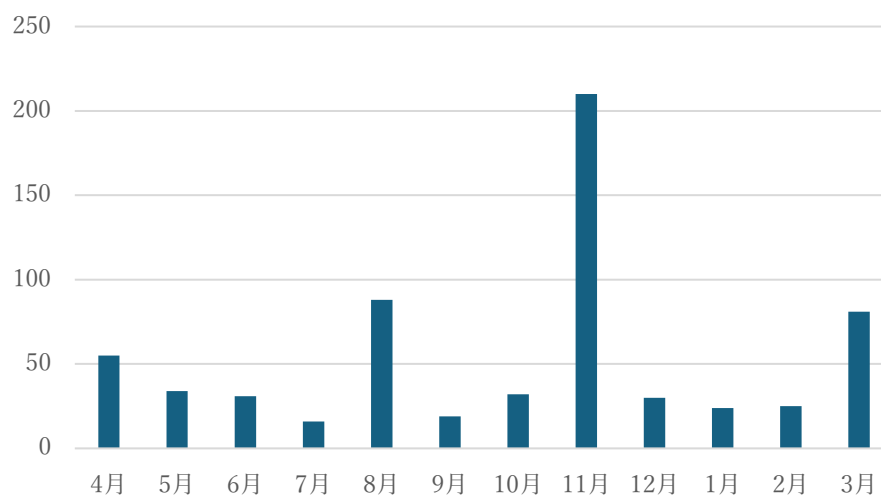
ク 市町村からの相談対応

市町村からの依頼を受けて、以下の支援を実施した。

- ・自然観察会への講師派遣(八幡市(5/10)、舞鶴市(雨天のため中止))
- ・環境委員会委員への就任(京田辺市)
- ・宝が池未来共創会議への参画(京都市)

ケ 府民等の生きものに関する相談対応

交流オフィス来所、電話、メール等により、計 645 名(前年度 567 名)の対応を行った。



▲交流オフィス月別来所者数(人)

(2) 企業等の支援

ア 生物多様性に配慮した経済活動の促進(民間企業に対する啓発活動を含む)

昨年度に引き続き、企業の生物多様性保全への取組を促進するため、主催及び共催セミナーを各1回実施した。主催セミナーは、三井住友海上火災保険(株)と連携して開催した。

日付	セミナー名	内容	参加者
11/27(火)	中小企業脱炭素経営セミナー 事例で学ぶ脱炭素経営と生物多 様性－企業競争力を高める新戦 略	京都市、京都商工会議所と共催で 「なぜ今、企業に生物多様性配慮 が求められるのか」をテーマに講 演を実施	19名
3/4(水)	企業向け生物多様性セミナー	企業に求められる役割を知り、行 動変容していただけるよう、講演、 企業の取組紹介、グループディス カッションを実施	106名

イ 企業の生物多様性に関する取組への相談対応(自然共生サイト認定支援等)

生物多様性保全の取組や自然共生サイトの認定に向けた企業等の相談に対し、助言及びコーディネート等を行った。

・R7年度支援実績：8社 うち、自然共生サイトの申請支援 3社(申請済 1社、申請予定 2社)
--

ウ 行政施策における環境配慮の推進

地域振興計画の策定や公共工事(砂防工事、道路工事)など計25件に対し、生物多様性情報を提供し、助言を行った。また、公共工事における調査等1件に対し、コーディネートを行った。

エ 生物多様性地域資源可能性調査

令和6年度に引き続き、鹿背山(木津川市)、花脊地域(京都市)におけるビジネスモデルの創出を目指し、商品開発に向けた関係団体や企業との調整を行った。「松ぼっくりビール」および「アユの缶詰」が完成し、2月15日に開催した流域連携事業の食味会で披露した。

4 環境学習・若手の育成及び情報発信（「継承」分野の事業）

（1）環境学習

ア 環境学習施設と連携した環境学習の実施

- 京都府立植物園、京都府立大学新自然史科学創生センターと連携したサイエンスレクチャーの実施

実施日	内容	講師	参加者
5/3(土)	植物 - アリ - カイガラムシ 1000 万年続いた“持ちつ持たれつ”の関係	大阪公立大学 上田 昇平 准教授	60 名
9/14(日)	牧野富太郎が見た“ふつうの草”は今どこに？：イヌノフグリと外来種の話	滋賀県立大学 高倉 耕一 教授	63 名
11/22(土)	ある日森を歩いていたらキノコと出会った動物とキノコの話	金沢大学 都野 展子 准教授	55 名
3/1(日)	「蝶のきた道」（日浦勇 著）から半世紀：ギフチョウのきた道を探る	岐阜大学 土田 浩治 教授	66 名



▲「サイエンスレクチャー」のチラシ

- 地域の拠点施設における講師派遣やイベントの共催

実施日	内容	環境学習施設等	参加者
5/11(日), 18(日)	「自然共生サイト」認定記念 さすてな自然観察会～生きものマップを作ろう！～	さすてな京都	32 名
1/25(日)	「いきもの博士」に聞いてみよう！研究者のおシゴトと京都のおもしろいきものたち！	さすてな京都	中止 ※
2/7(土)	幻の巨椋池ってどんな池？～巨椋池の歴史と標本からわかる巨椋池の環境～	京都市青少年科学センター、 宇治市歴史資料館、大阪市立 自然史博物館	41 名

※南部クリーンセンターの火災発生に伴うもの



◀左)「さすてな自然観察会(さすてな京都制作)」
右)「幻の巨椋池ってどんな池？」のチラシ

イ 伝統文化の観点からの環境学習の実施

京都ならではの「文化」の観点から、文化と自然のつながりを体感することで、生物多様性についての理解を深める環境学習を実施した。「植物の生命と色」「茶の湯」と生物多様性の各事業については、一般社団法人三洋化成社会貢献財団からの御寄付により実施した。

実施日	内容	場所	講師・協力	参加者
8/16(土) 17(土)	「虫の音を聴く文化を学ぶ鑑賞会」 平安時代から親しまれた虫の音を 楽しむ鑑賞会の実施	京都府庁 京都御苑	(公財)日本生態系協会 岩井 大輔氏	32 名
10/26(日)	「植物の生命と色～染めの手仕事 を通じて植物の「いのち」を感じる プログラム～」 植物ムラサキを使った伝統的な草 木染のワークショップや講師によ る鼎談	紫野今宮 神社	アトリエシムラ代表 志 村昌 司氏／紫野今宮 神社宮司 佐々木 従 久氏／(株)ミシマ社代 表 三島 邦弘氏／武 田薬品工業(株)京都薬 用植物園／ムラサキノ ハレ	56 名
12/6(土)	「“茶の湯”と生物多様性ー生物多 様性において私たちができること ー」 茶道の「もてなし」や茶庭の手入 れ、地衣類についての講演	有斐斎弘 道館	有斐斎弘道館館長 濱崎 加奈子氏 京都府レッドデータ 改定検討委員会委員 山本 好和氏	28 名



▲「虫の音を聴く文化を学ぶ鑑賞会」のチラシ(左)と様子(中央、右)



▲「植物の生命と色」のチラシ(左)と様子(中央、右)



▲「「茶の湯」と生物多様性」のチラシ(左)と様子(中央、右)

ウ 環境学習事業等への講師派遣

学校や地域団体、企業等から依頼を受け、センター職員または外部講師派遣を実施した。

・支援実績：学校、市町村、地域団体、企業等 計 19 件

→ 詳細：24 ページ

(2) 重点連携施設との連携

ア 重点連携施設と連携したイベント等の実施

実施日	イベント名	内容	場所	参加者
4/12(土)	4 園館連携イベント 「野生動物学のすすめ 2025」	どんぐりインクを使用した WS を実施	京都市動物園	45 名
8/10(日)	環境を学ぼう！自由研究サポート 2025	講師役として人と自然の共生ネット、京都工芸繊維大学大学院生を招き、昆虫の相談会や放置竹林の竹を使ったワークショップを実施	京都府立植物園	26 名
7/18(金) ～ 8/24(日)	植物と昆虫展	京都府立植物園における特別展において、クビアカツヤカミキリの啓発パネルを設置	京都府立植物園	—
8/2(土)	4 園館連携イベント 「夜行性のいきものを知ろう！」	「鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会」に展示物のデータ提供等の協力を依頼し、夜の生き物として、鳴く虫をテーマに展示やクイズを実施	京都水族館	20 名
9/27(土)	4 園館連携イベント 「きょうと☆いのちかがやく博物館」	いきものフェス連携イベントとして、「いきものの赤ちゃん」をテーマに、府立植物園による「飛ぶ種とばし」の他、各施設が企画を実施	京都府立植物園	17 名
2/1(日)	4 園館連携イベント 「きょうと☆いのちかがやく博物館」	科博連サイエンスフェスティバルに出展	京都市青少年科学センター	200 名

(3) 若手の育成

生物多様性保全に係る担い手育成のため、生物多様性とその保全活動について学習・体験する機会を提供している。令和 7 年度は、インターン研修生の受け入れの他、若年層を対象に、府内各地域の生物多様性とその保全活動について学習・体験する研修会を実施した。

<インターン研修生の受け入れ状況>

学校	受入期間	内容	受入人数
京都産業大学	8/1、6～8、20、9/27、28	いきものフェス企画発案および当日のサポート、データベース入力業務に従事	1 名
京都精華大学	8/6、9/27、28	いきものフェス企画のデザイン制作業務および当日のサポートに従事	2 名

<生物多様性保全担い手研修会の実施状況>

実施日	名称	内容	協力	参加者
4/29(日)	第1回「大原野森林公園観察会」	前年度に実施した場所における希少植物の観察を実施	大原野森林公園運営管理協会	4名
9/6(日)	第2回「鴨川魚類調査体験」	鴨川で魚類モニタリング調査を実施	京の川の恵みを生かす会 横田 康平氏	12名
2/14(土)	第3回「鹿柵設置ボランティア」	金蔵寺境内においてフジバカマを守るためのシカ柵を設置	金蔵寺、大原野森林公園 森の案内人等	4名
2/22(土)	第4回「ヨシ刈り研修ボランティア」	宇治川のヨシを守るためのヨシ刈り作業を実施	宇治川のヨシ原を守るネットワーク	11名

(4) 情報発信

ア 交流オフィスを活用した情報発信

交流オフィスにおいて、イベント実施や展示による情報発信を行った。

- ・イベント： 標本づくり体験、クイズラリーなど 計3件
- ・公募展示： 落ち葉探偵など 計3件

→ 詳細：26 ページ

イ イベント等でのセンターPRのためのブース出展

- ・出展実績： 大阪・関西万博、若鮎まつり、いきもにあ など 計9件

→ 詳細：26 ページ

ウ ホームページやSNS等を活用した広報・情報発信

- きょうと生物多様性センター 公式ホームページ

生物多様性保全に関するイベントや保全団体・企業の取組などの情報を、幅広く発信。



URL

<https://www.pref.kyoto.jp/biodic/>

QR



● SNS による情報発信

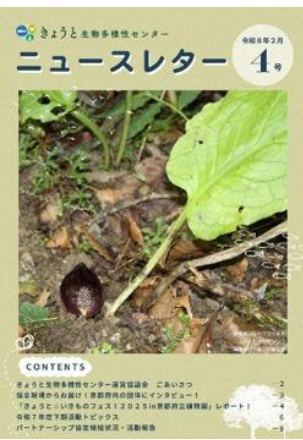
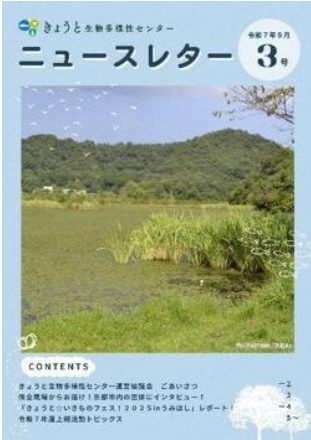
SNS	開設日	累計投稿数	フォロワー数
X(旧 Twitter)	R5. 8. 18	116 件(R6 : 81 件)	327(R6 : 219)
Instagram	R6. 1. 29	70 件(R6 : 36 件)	38(R6 : 197)

● メールマガジンの発行(R5 年 11 月開設)

登録者数 1,364 名(R6 : 1,076 名) / 累計配信数 78 回(R6 : 40 回)

● 広報誌「ニュースレター第 3 号・4 号」の発行

令和 7 年 9 月に第 3 号、令和 8 年 2 月に第 4 号を発行。賛助会員・関係者に送付、関連施設に配架を依頼。



エ その他発信

- ・「公園緑地」Vol. 86 (きょうと生物多様性パートナーシップ協定の取組を紹介)
- ・「こごみ日和」107 号(2026 春号)(連載コーナー「ごみ減会員さん訪問記」の取材受け入れ)

5 パートナーシップ協定による活動

(1) きょうと生物多様性パートナーシップ協定締結企業

令和 7 年度は、新たに 2 社から保全活動に対する支援について申し出があり、「きょうと生物多様性パートナーシップ協定」を締結した。(累計 5 社)

・第 4 号(R7. 4. 14 締結)	(株)ティー・エム・ティー
・第 5 号(R7. 8. 22 締結)	(株)GS ユアサ

(2) きょうと生物多様性パートナーシップ協定締結に基づく保全団体への支援

協定に基づき、次の保全活動に対して支援等を実施した。

協定締結企業	内容
(公財)日新電機グループ社会貢献基金	・琴引浜において、同社グループ社員やご家族と「琴引浜の鳴り砂を守る会」との海浜清掃や松の伐採の保全活動を実施(4/12 及び 10/25)

(株)京都環境保全公社	・花脊地域に生息するチマキザサ保全のため、チマキザサ再生委員会による防鹿柵の設置や笹の移植活動に対する資金・人的支援 ・丹波運動公園主催の自然観察会への資金支援
京都中央信用金庫	・「鴨川を美しくする会」や、地元団体、学生ボランティアとともに特定外来生物オオバナミズキンバイの駆除活動への資金および人的支援(5/24、10/11) ・センターにおける生物多様性情報データベース化の資金支援
(株)ティー・エム・ティー	・各地域の保全団体等が実施する子ども向け環境学習や自然観察会などへの資金支援 ・京都市花背地域で「特定非営利活動法人 自然観察指導員京都連絡会(noi-Kyoto)」が主体となって進める特定外来生物オオハングンソウの駆除活動への支援
(株)GS ユアサ	・木津川市「かせやまの森」での保全活動への資金支援(自然共生サイト認定後のモニタリング継続のための支援) ・淀川流域で天然アユの魚道設置を行う「京の川の恵みを生かす会」への資金支援



◀ パートナーシップ協定に基づく保全活動の様子

6 その他の取組

(1) 外部資金獲得等に応じた取組

ア 賛助会員

賛助会員：企業7社、個人3名

賛助会員企業
・(株)SCREEN ホールディングス ・三菱自動車工業(株) ・武田薬品工業(株)京都薬用植物園 ・日本板硝子(株) ・(株)パイオーム ・(株)WELLUP ・(株)グリュックス

イ 国等の交付金の獲得

- 令和7年度生物多様性保全推進交付金(生物多様性保全推進支援事業)を獲得
「収集」「利活用」「継承」分野の各事業を実施した。
- 京都地域創生府民会議補助金
「夏休みの自由研究相談会及び放置竹林を活用した竹のワークショップ」を実施した。

ウ 保全団体や民間企業等の保全活動や啓発等の支援及び受託

行政や民間企業等が実施する調査や保全活動、啓発事業を受託した。

受託内容	受託先
地域と連携した外来生物対策推進事業	京都府 自然環境保全課
担い手育成事業	京都府 自然環境保全課

エ 生物多様性に係る調査・研究

- タカラ・ハーモニストファンド助成事業
京都府指定希少野生生物であるミズスマシ *Gyrinus japonicus* Sharp, 1873 を中心に、かつて水田やため池などの水環境で目撃されていた普通種の水生生物について、聞き取り調査や文献・標本等の調査を実施した。
- 関西自然保護機構(KONC)研究助成事業
府内の関連施設の標本等の情報収集を実施した。特に、学校標本は統廃合等によりその管理が危ぶまれることから、KONC の助成金を受け保有情報を調査した。

→ 詳細 : 27 ページ

(2) センターの持続可能な運営に向けた取組

ア 中期計画の検討・策定賛助会員

現行の「京都府生物多様性地域戦略(H30年3月策定、R5年10月改定)」及び「京都市生物多様性プラン2010-2030(R3年3月策定、R8年3月改定)」が目指す目標と方向性を踏まえ、きょうと生物多様性センターとして中期的(3~5年後)に取り組むロードマップの検討を進める。

イ 法人化をはじめとした持続可能な体制構築に向けた検討

今後、必要に応じて検討していく。

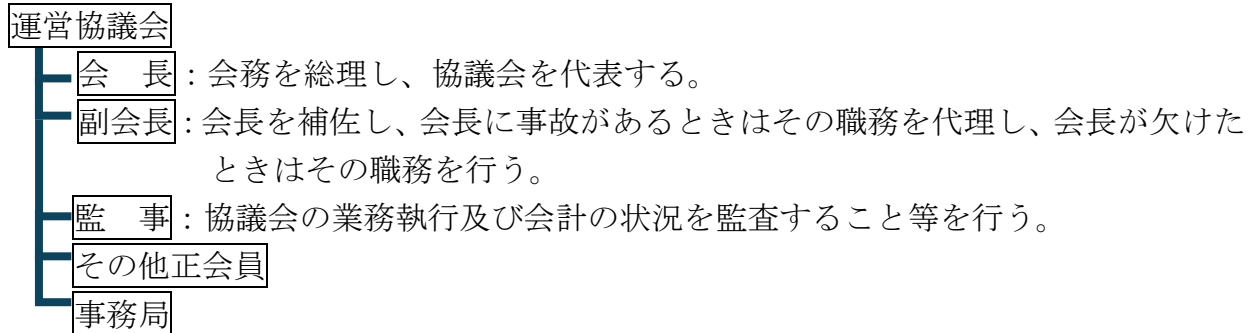
(3) 職員の人材育成

実施日	会場	内容
5/19(月)	京都府公館第二会議室	京都府生物教育会主催講演会への参加
6/20(金)	オンライン参加	CoNECT の聴講(NORNAC)

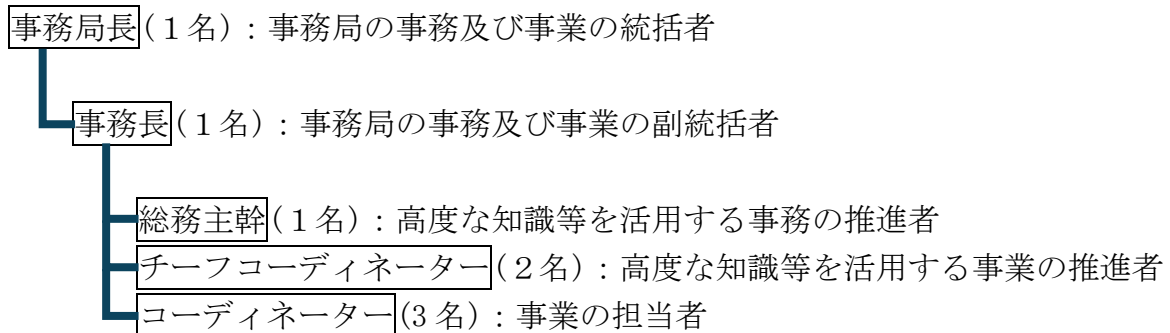
12/6(土)	大阪自然史博物館	きょうと生物多様性センター友の会準備 会主催の博物館視察への参加
---------	----------	-------------------------------------

(参考)きょうと生物多様性センター組織図

1 運営協議会



2 事務局



(令和7年5月時点)

参 考 資 料(各事業の詳細等)

1 概 要(1 ページ)

<主な事業内容と実績>

分野	主な項目	実績等	
		R6 年度	
収 集	生物多様性情報の集積・データベース化 ・生物多様性情報等の集積・整理	10 分類(陸生貝類、クモ類の 2 分類群追加) 300, 812 件登録 (累積 462, 429 件)	8 分類群 109, 762 件登録 (累積 161, 617 件)
	多様な主体のネットワーク形成 ・きょうと☆いきものフェス！2025 @植物園 @うみほし(府域への拡充) @けいはんな(府域への拡充) ・きょうと☆いきもの調査(テントウムシ) ・きょうと☆いきもの調査(ドングリ) ・流域連携事業 ・学校、企業等への講師派遣	参加団体:94 来場者:約 12, 000 人 参加団体:15 来場者:約 800 人 参加団体:17 来場者:約 3, 000 人 報告件数： 8 件 報告件数： 0 件 報告件数： 5 件 参加者：70 人 講師派遣：19 回 (センター8 回、外部派遣 11 回)	参加団体:77 来場者:約 11, 000 人 — — — — 報告件数：51 件 — フォーラム参加者:179 人 講師派遣:19 回
利活用	保全活動のコーディネート ・企業・団体等のコーディネート	件数:51 件	件数:40 件
	相談対応・助言・提案 ・来所・電話等相談対応 ・企業向けセミナー (参考)府内の自然共生サイト認定件数	延べ 615 人 1 回、106 人 22 件	延べ 567 人 4 回、延べ 322 人 10 件(計 12 件)
	調査・研究 ・公共事業等への活用 ・各種助成事業を活用した研究の推進	25 件 2 件	12 件 —
	継 承	環境学習・担い手育成及び情報発信 ・京都ならではの生物多様性の発信	3 事業、116 人

分野	主な項目	実績等	R6 年度
	・ 交流オフィスにおける環境学習 ・ 関連施設等と連携した環境学習 ・ 重点連携施設とのイベントの実施 ・ 担い手育成研修会 センター事業の広報・情報発信 ・ ブース出展等 ・ SNS による情報発信 ・ メールマガジン ・ 広報誌 ・ 年報	3 事業、参加者 69 人 7 事業、参加者 317 人 イベント数：6 回 4 回、参加者 31 人 10 回 X：327 フォロワー Instagram：382 フォロワー 登録者：1,364 人 R7.9、R8.2 発行 R8.2 発行(R6 年度)	主催：3 事業、57 人 10 事業、参加者 416 人 イベント数：8 回 3 回、参加者 37 人 9 箇所 X：32 件 Instagram：30 件 登録者：1,076 人 R7.3 第 2 号発行 R7.3 発行(R5 年度)
その他	・ 賛助会員 ・ パートナシップ協定締結	企業 7、個人 3 企業 2(延べ企業 5)	企業 6、個人 3 企業 2(延べ企業 3)

2-(2)-ア 標本や文献等資料の保有状況の情報収集(2 ページ)

< 各種団体への調査 >

日付	内 容	対 象
通年実施	冠島産標本整理と資料化(公表)	京都府立大学
	京都府産生物情報調査	個人所有(舞鶴市)
	京都府産植物情報調査	NPO 法人やましろ里山の会
	京都府産鳥類生息情報調査	京都府希少野生生物保全専門委員
	京都府産希少鳥類生息情報調査	関西ケリ研究会
	京都府チョウ類生息情報調査	個人所有(上京区)
	京都府希少植物生息情報調査	京都府希少野生生物保全専門委員
	京都府産昆虫綱文献調査	コウチュウ目報告集
11/27(木)	京丹後市産標本調査とクリーニング	京丹後市
1/9(金)	京都府産標本調査	個人所有(舞鶴市)
2/7(土)	京都府産標本調査	京都市青少年科学センター
2/25(水)	京都府産昆虫類標本データ調査	個人所有(豊中市)
2/27(金)	京都府産標本調査	大阪市立自然史博物館

< 学校標本 >

日付	対 象
8/18(月)	室町小学校・西陣中央小学校

日付	対 象
8/21(木)	葵小学校・洛北高校
9/12(金)	大將軍小学校
9/20(土)	上高野小学校
9/24(水)	開晴小中学校

3-(1)-ア きょうと☆いきものフェス！2025 の開催(2 ページ)

3 回目の開催となる「きょうと☆いきものフェス！2025」は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博の開催期間中でもあり、前年度からさらに拡大して実施した。また、昨年同様 1 日目は、森林のイベント「森林の魅力を体感 in 府立植物園」、2 日目は地域振興のイベント「洛北フェス」と同時開催し、来場者数は前年度を上回る結果となった。また、関連イベントとして「キミもおちばの探検隊 in けいはんな」を開催した。

今年は「いきもの目線で見える京都の自然」をサブテーマに「フォトコンテスト～いきもの目線で見える京都の自然～」を実施した。昨年の「きょうと☆いきものフェス！2024」の企画である「推しのいきもの総選挙」にて、第 1 位となったムササビにまつわるクイズラリーや、初年度からの継続企画であるスタンプラリーも実施した。

また、2 日間を通して全 26 組による活動発表会を開催した。園児の身近な生き物調べから高校生の先進技術を使った発表や保全団体の取組など、内容は多岐に渡った。1 日目の夕方には誰でも参加可能な活動交流会を開催し、2 日目は 6 団体によるポスターセッションを開催し、コーディネーターも自身の調査や研究についてポスター展示を行った。



- ・実施日：令和 7 年 9 月 28 日(土)～29 日(日)
- ・場 所：京都府立植物園
- ・参加者：約 12,000 名
- ・出展者：94(団体・個人・学校・行政等)
- ・主 催：きょうと生物多様性センター
- ・共 催：京都府、京都市、
きょうと生物多様性センター友の会準備会



▲きょうと☆いきものフェス！2025 ポスター(左)とパンフレット(右)

● フォトコンテスト～いきもの目線で見ると京都の自然～



生き物とその生息環境を紹介する2枚構成とした。参加者によるシール投票の結果は、1位モリアオガエル/NPO 法人おおつ環境フォーラムビオトーププロジェクト(377票)、2位ミツバチ/京都府企画統計課(138票)3位サンショウクイ/比叡平里山俱樂部(60票)となった(総投票数1,684票)。

▲フォトコンテストの様子(左)と展示された候補作品(中・左)

● スタンプラリーやクイズラリーの景品

景品としてムササビを描いたオリジナルステッカーや、ムササビやドングリ、 TENTUMシ等を描いたクリアしおりを配布した。



▶景品(左)とクイズラリーの問題の一部(右)



▲きょうと☆いきものフェス！2025 の様子

○きょうと☆いきものフェス！2025 関連イベント

- ・キミもおちばの探検隊 in けいはんな記念公園



9月13日(土)に、落ち葉・土・土壌生物をテーマにした「おちばの探検隊」をけいはんな記念公園にて開催した。講師役を稲本 雄太氏(けいはんな記念公園)、松田直子氏(落ち葉探偵)、noi-Kyoto に依頼し、公園内の水景園を舞台に、野外観察、クイズ、土壌生物の観察会を実施した。



◀キミもおちばの探検隊
in けいはんな記念公園
の様子

3-(1)-イ きょうと☆いきものフェス!の府域への拡大(3ページ)

● きょうと☆いきものフェス! 2025 in うみほし

今年度から新たに京都府立丹後海と星の見える丘公園(宮津市)にて実施した。当日は「アースデイ丹後」と同時開催し、北部地域を中心に活動する団体が多く出展した。センター企画としてスタンプラリーと観察会を実施した。R7年は冠島で集団繁殖するオオミズナギドリが「京都府の鳥」に制定(1965年)されてから60周年となるため、オオミズナギドリをテーマにチラシやステッカーを作成した。園内の自然観察会では、ハッチョウトンボをはじめとする昆虫や植物の観察を行い、ブース展示では、いきものの標本や活動のパネルが多く並び、丹後の自然を知り楽しむ機会となった。



- ・実施日：令和7年6月22日(日)
- ・場 所：京都府立丹後海と星の見える丘公園
- ・参加者：約800名
- ・出展者：15(団体・個人・行政等)
- ・主 催：きょうと生物多様性センター
- ・共 催：京都府



▲きょうと☆いきものフェス! 2025in うみほし
チラシ(左、中央)とオオミズナギドリのステッカー(右)

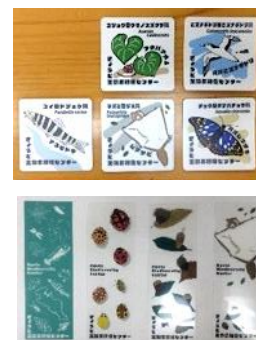


● きょうと☆いきものフェス！2026 in けいはんな

けいはんな記念公園(精華町)においても今年度から新たに実施した。当日は「ポケットマルシェ in けいはんな記念公園」と同時開催し、南部地域を中心に活動する団体が多く出展した。センター企画としてスタンプラリーと観察会を実施した。観察会はテントウムシみわけ図鑑の監修をいただいた櫻谷 保之氏(元近畿大学教授)と、稲本 雄太氏(けいはんな記念公園)に講師を依頼し、けいはんな記念公園と共催で実施した。出展者による里山の恵みを活かしたワークショップや園内の観察会も複数開催され、生き物と自然を学ぶ活気あふれる1日となった。



- ・実施日：令和8年3月20日(金・祝)
- ・場 所：けいはんな記念公園 芝生広場
- ・参加者：約3,000名
- ・出展者：17(団体・個人・行政等)
- ・主 催：きょうと生物多様性センター、京都府
- ・共 催：けいはんな記念公園



▲きょうと☆いきものフェス！2026 in けいはんな

チラシ(左、中央)とスタンプラリーの景品であるステッカーやクリアしおり(右)



▲きょうと☆いきものフェス！2026 in けいはんなの様子

3-(1)-キ 多様な主体による保全活動の促進、コーディネート(6ページ)

概要	支援先・関係者	内容
イタセンパラの復活に向けた活動	やましる里山の会、大阪府生物多様性センター	イタセンパラの野生復帰を目指しているやましる里山の会に対して、普及啓発の面から支援
京都水族館の里山エリアの整備	京都水族館	里山エリアの整備に関して、助言、専門家紹介
オオハンゴンソウ駆除活動	noi-Kyoto	イベントの後援や実施に関わる助言等の実施 (後援イベント：4/29、5/27、7/20、10/26)
武田薬品種子保存事業	武田薬品工業(株)京都薬用植物園	武田薬品工業(株)京都薬用植物園が進める種子保存事業において連携。種子採取先を調整
わきの山	明德小学校、(公財)京都市環境保全活動推進協会	明德小学校の持つ学校林「わきの山」の活用、自走できる仕組みづくりの検討
大宮交通公園	大和リース(株) (同)洛北社中 (一社)地球社会レジリエンスセンター	「食べられる森」をテーマに、人と自然のより良い場づくりを進める社会実験において、研究と実践、地域との繋ぎ役として関与(3/1「未来をつくる、動き出す～食べられる森をヒントに」実施)
クビアカツヤカミキリパトロールボランティア	京都市市民活動センター	市民活動センターが実施するクビアカツヤカミキリの被害木を見つけるボランティア活動について、進め方についての助言、広報協力
宝が池未来共創会議	京都市建設局みどり政策推進室	左記会議にメンバーとして参加。 会議目的：宝が池公園に関わる方の積極的な参画及び公民連携のもと、公園の将来像を共有するとともにその実現に向けた取組の実践

概要	支援先・関係者	内容
地域住民と協働した外来種駆除支援	府立洛西高等学校、乙訓の自然を守る会	京都府から委託を受けて、外来魚の駆除講習会を行い、地域住民による外来種駆除・防除を支援
近畿「子どもの水辺」交流会	近畿「子どもの水辺」交流会運営委員会	11月9日にて歴彩館で近畿「子どもの水辺」交流会を共催。京都府内の学校や活動団体等への参加呼びかけや広報協力、当日スタッフとしての従事
鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会	同左	協議会、ワーキング等に参加、鳴く虫についての普及啓発を支援
宇治川のヨシ原	宇治川のヨシ原を守るネットワーク	ネットワークの例会への参加及び専門家紹介
生物教育会との連携	京都府生物教育会	研修会の企画提案、講師の紹介等

＜自然共生サイトに関するもの＞

概要	支援先・関係者	内容
かせやまの森	鹿背山の森創造社、木津川市等	かせやまの森の保全、自然共生サイトの申請支援
花背地域の自然共生サイト登録に向けた相談	花脊地域自然共生サイト検討グループ事務局	自然共生サイト登録に向けて組織された協議会に参画し助言・協力
マルヤ農林園上世屋&岡ノ前棚田跡公園における里山生態系保全活動	宮津世屋エコツーリズムガイドの会、世屋川流域エコミュージアムサービス	自然共生サイト申請支援等

4-(1)-ウ 環境学習事業等への講師派遣(10ページ)

＊：センター職員が実施したもの

実施日	派遣先	内容
4/22(火)	日本板硝子(株)	社内向け講演会にて登壇＊
5/10(土)	八幡市主催の観覧会	講師をコーディネート
5/24(土)	舞鶴市主催の観覧会	生物多様性に関する講演 ※雨のため中止

5/25(日)	哲学の道 保勝会	疎水エリアの水生生物調査について、専門グループを紹介
5/31(土)	葵小学校プール生きものの観察会	センターが講師を務めた＊
6/21(土)、 8/2(土)	地球環境の殿堂(万博関連事業)	講師を紹介、センターもスタッフとして参加＊
6/21(土)、 10/25(土)	京エコロジーセンター	講師を紹介
7/5(土)	けいはんな記念公園昆虫採集・標本づくり教室	標本作製の講師を紹介、センターは準備・当日のサポートを行った。
9/15(月・祝)	(株)SCREEN ホールディングス	観察会を紹介
9/20(土)	上高野小学校	生物多様性をテーマに小学生向け講演を実施＊
9/30(火)	嵐山東小学校	地域での観察会の講師をコーディネート
10/14(火)	つみきのよう、 賀茂川漁業協同組合	講師を紹介
10/22(水)	京都工業会	「第４９回関西環境管理者交流会」においてセンター長が講演＊
11/13(木)	御所南小学校	生物多様性に関する小学生向け講演＊
11/16(日)	けいはんな記念公園 30周年イベント	センターアドバイザー 光田 重幸氏を派遣
11/27(木)	NPO 法人子どもとアーティストの出会い	朱雀第七小学校での特別講義にて、講師を紹介
12/26(金)	京都産業大学	食農文化・政策の授業における話題提供＊
1/26(月)	きんき環境館	「地域で広げる自然共生サイト支援者意見交換会」へ事例紹介で登壇、意見交換に参加＊
2/18(水)、 20(金)	ノートルダム小学校	講師を紹介

4-(4)-ア 交流オフィスを活用した情報発信(12 ページ)

<イベント>

実施日	イベント名	内容	参加者
8/1(月) 8/8(金)	昆虫博士と！！標本を作ってみよう！！～夏休みの自由研究もこれでカンペキ！～	生き物について興味を持つきっかけとなるよう、学ぶ場の提供や、標本づくりなどの体験を実施	33 名
10/29(水)	～苔を身近に～モスリウムワークショップ	講師をモス広河原に依頼し、広河原産地のコケを使ったモスリウム作りのワークショップを実施	12 名
3/16(月)～ 4/17(金)	いきものクイズラリー	交流オフィスの認知度向上のため春休みにおける啓発イベントとして、クイズラリーを実施	24 名 (3 月末時点)

<公募展示>

実施期間	展示テーマ	申込者
8/15～10/23	鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワークの取組	鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会
10/1～11/28	土育(土について学ぼう)	落ち葉探偵
1/16～3/15	折り紙の世界から生物多様性を考えよう	落ち葉探偵

4-(4)-イ イベント等でのセンターPRのためのブース出展(12 ページ)

実施日	出展先	場所
5/6(日)	大阪・関西万博	夢洲
6/14(日)	若鮎まつり	嵐山中ノ島公園
10/18, 19(土日)	いきもにあ	みやこめっせ
11/1(土)	京と地球の共生府民会議第 29 回環境連続セミナー	イオンモール KYOTO
11/2(日)	どんぐり祭り	宝ヶ池公園
11/28(金)～ 12/21(日)	「生物多様性保全の取組と自然共生サイトパネル展」 in 京都御苑情報館	京都御苑
11/30	左京区ふれあいまつり	左京区役所
1/13(火)～ 21(金)	木と暮らすデザイン KYOTO 展	Fabcafe kyoto

2/11(水)	京都環境フェスティバル	パルスプラザ京都
---------	-------------	----------

6-(1)-エ 生物多様性に係る調査・研究(15 ページ)

<口頭発表>

実施日	大会名	タイトル
3/1(日)	地域自然史と保全研究発表会 2026 年度大会	「京都府内における学校標本の実態の解明」

<ポスター発表>

実施日	大会名	タイトル
9/24(水)	京都府農林水産部技術交流会	「京都府における水田生態系の水生昆虫(半翅目および甲虫目)の歴史的变化」
9/27(土)、 28(日)	きょうと☆いきものフェス 2025 活動交流会	「京都府内における学校標本からみつかる宝物たち」
9/27(土)、 28(日)	きょうと☆いきものフェス 2025 活動交流会	「みんなでさがす ミズスマシプロジェクト ～ 思い出インタビュー！ ～」
9/27(土)、 28(日)	きょうと☆いきものフェス 2025 活動交流会	「京都府生物データベース収集の現況と課題」
12/21(日)	第 16 回琵琶湖地域の水田生物研究会	「水田生物の記憶を探るーミズスマシ類を中心に」
3/1(日)	地域自然史と保全研究発表会 2026 年度大会	「京都府の水生コウチュウの情報収集, 特にミズスマシ科について」

<誌上発表>

発行日	掲載誌名	タイトル
12/25(木)	京都府立大学学術報告. 生命環境学, 77: 1-15 (2025)	「京都府舞鶴市冠島で採集された昆虫の標本目録」